
赤潮情報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成25年4月10日

鹿児島湾 赤潮情報 No.1

[1] 4月9日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

調査全域で、有害種による着色域は確認されませんでした。
 有害種については、セラクム属が1~4cells/ml確認されたほかは、ハネツグマアソコやツヤツネリマリーナは確認されませんでした。珪藻類は、全体的に多い状況でした。

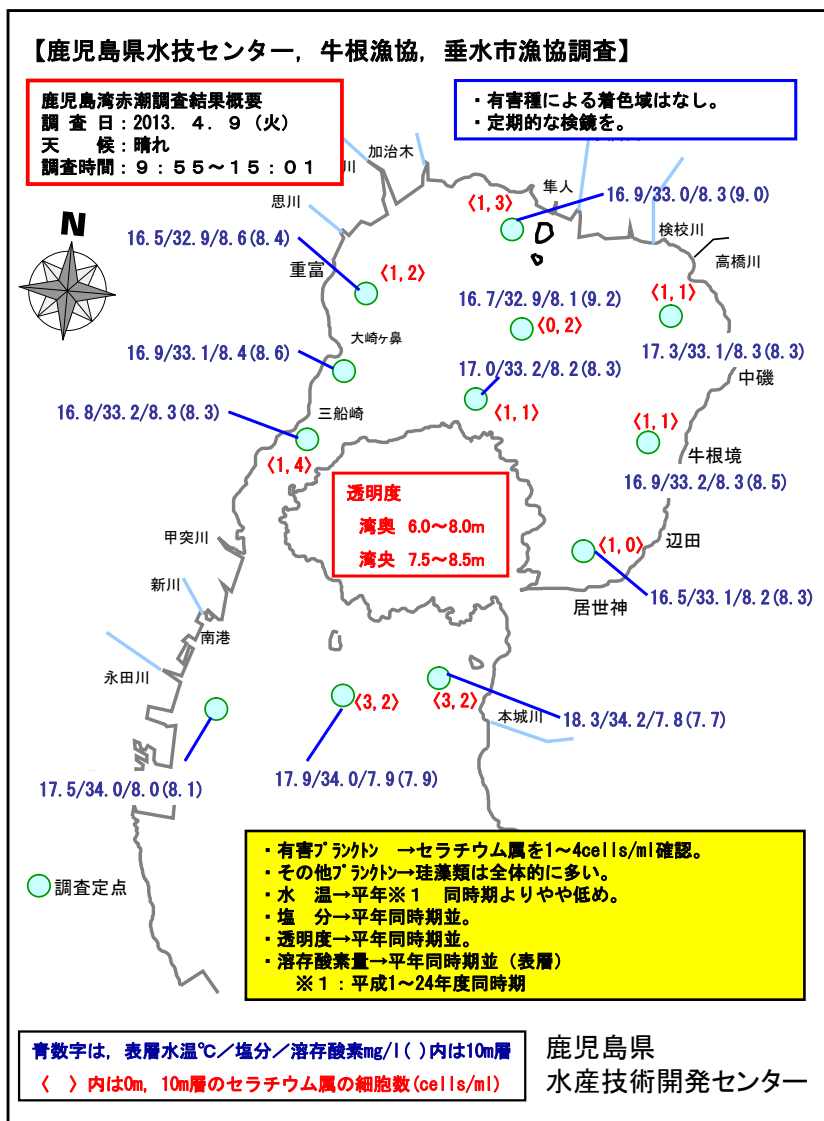
(2) 海況

表層水温は湾奥部で17.5~18.3℃、湾奥部で16.5~17.3℃と平年同時期よりやや低め。塩分は32.9~34.2、透明度は6.0~9.0mとともに平年同時期並となっています。

水温：平均 17.1℃ 湾奥部 16.8℃ 湾中央 17.9℃
 塩分：平均 33.3 湾奥部 33.1 湾中央 34.1
 透明度：平均 7.6m 湾奥部 7.6m 湾中央 7.6m

(平年値は平成1~24年の4月平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想



鹿児島湾は、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っています。9日の調査では、有害種はセラクム属が少数確認されたのみで、着色域は確認されず、また全体的に珪藻類が多い状況でしたが、今後の状況によっては有害種が増殖する可能性もあるので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に漁場周辺の採水・検鏡を行い、有害プランクトンの有無など漁場環境の把握に努めて下さい。
 (次回調査は4月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(PC用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>